【低炭素の取組（エネルギーネットワークへの接続が可能な場合）】

★★★★★

入力箇所

No.	取組項目		取組内容		基準点	自己採点	備考
	1．建物建替え時等の省エネビルへの誘導					30	最高点30点
1	非住宅	建物の省エネルギー性能（BEI）*1	数値を記入　BEI＝	0.68	10	6	根拠提示
			ZEB達成の場合	重点取組加点	5	5	
2		建物の熱負荷抑制の性能（BPI）*2	数値を記入　BPI＝	0.52	5	4	同上
3	住宅	建物の省エネルギー性能（BEI）*1	数値を記入　BEI＝		10	0	同上
			ZEB達成の場合	重点取組加点	5	0	
4		住棟または住宅用途部分の外皮性能	U_A＝		5	0	同上、省エネ基準0.46
5		各種自然エネルギーの採用	フリークーリング		1	0	
6		＊BEIの計算に反映されない手法	自然換気システム		1	1	
7			クール・ヒートトレンチ		1	0	
8			雪氷熱利用		1	0	
9			風力発電		1	0	
10			バイオマス利用		1	0	
11			井水の活用		1	1	
12			別紙		1	3	取組数×１
13		各種高効率機器・システムの導入	CO2濃度外気量抑制		1	1	
14		＊BEIの計算に反映されない手法	冷却塔ファンのインバータ制御		1	0	
15			デシカント空調システム		1	0	
16			高効率変圧器		1	1	
17			BEMS・HEMS・MEMSの導入		1	1	
				重点取組加点	5	5	
18			別紙		1	4	取組数×１
	2．エネルギーの面的利用					10	最高点10点
19		地域冷暖房の利用	（冷水・温水・高温水）　接続の有無		2	2	接続の有は２点
20		地域冷暖房などの温熱利用率	年間温熱負荷に対する温水利用率80%以上		4	4	DHCエリア内の場合
21		地域冷暖房などの冷熱利用率	年間冷熱負荷に対する冷水利用率80%以上		4	4	DHCエリア内の場合
	3．再生可能エネルギー由来の電力利用の拡大					3	最高点10点
		電力のCO2排出係数*3　数値を記入	0.518	（kg-CO2/kWh）	10	3	0.688基準の場合
		合計点				43	

各取組項目の採点を合計し、その点数により評価

41点～50点 ★★★★★
31点～40点
21点～30点
11点～20点
0点～10点

*1 BEI＝設計一次エネルギー消費量／基準一次エネルギー消費量
*2 BPI＝年間熱負荷係数（設計値）／年間熱負荷係数（基準値）
*3 調整後排出係数（メニュー別排出係数を公表している電気事業者から電気の供給を受ける場合はメニュー別排出係数）

（目標値）CO2排出量の削減率	●１㎡当りのCO2排出量（kg-CO2/㎡年）の削減率（2012年比）
30 %削減	（1－(設計CO2排出量原単位÷基準CO2排出量原単位)）×100%
	※基準の電力CO2排出係数は2012年（0.688kg-CO2/kWh）

【強靭の取組】

★★★

入力箇所

No.	取組項目	取組内容	基準点	自己採点	備考
	1．電力自立機能の強化による業務継続性向上			9	最高点24点
22	自立分散電源の拡充	業務継続につながる自立分散電源の確保	8	0	4段階評価で入力（n×2）
		重点取組加点	5		
23		環境負荷低減に寄与する非常用電源	5	0	
		重点取組加点	5		
24	電力供給の強化	2回路受電	5	5	
25	業務継続性向上につながる独自提案（取組数×２点） ①テナント用発電機スペースの確保、24時間分の発電機用備蓄燃料確保 ②バスターミナルや公共通路への電源供給（災害時のバス輸送のため、滞流場所の照明やトイレ機能等を確保）		2	4	取組数×２
	2．まちの強靭化			9	最高点16点
26	発災時の機能確保	建物の耐震性	2	1	２段階評価で入力（n×1）
27		水の供給継続	2	2	
28		温熱の供給継続	2	0	
29		非常用備蓄	2	2	
30	帰宅困難者対応	一時滞在施設への誘導情報の提供	2	0	
31		一時滞在施設としての位置付け	2	0	２段階評価で入力（n×1）
32	まちの強靭化につながる独自提案（取組数×２点） ①バスターミナルを活用した代替輸送場所 ②バスターミナルを活用した物資備蓄場所 ※上記は「第四回札幌駅交通ターミナル検討会（R04/3/17）」で整理済。		2	4	取組数×２
	3．防災性向上			8	最高点10点
33	地域連携	入居者（企業）との連携	2	2	
34		周辺地域との連携	2	2	
35	ルール等策定	防災マニュアルの作成	2	2	
36		災害時エネルギー供給ルール策定	2	2	
37	防災性の向上につながる独自提案（取組数×２点） 今後検討		2	0	取組数×２
		合計点		26	

各取組項目の採点を合計し、その点数により評価

41点～50点
31点～40点
21点～30点 ★★★
11点～20点
0点～10点

【快適・健康の取組】

★★★★

入力箇所

No.	取組項目	取組内容	基準点	自己採点	備考
	1. 健康増進に向けた歩きやすいまちづくり			15	最高点18点
38	ひとの回遊を促す機能	ユニバーサルデザインの採用	2	1	2段階評価で入力(n×1)
39		歩行者用ストリートファニチャー設置	2	2	
40		情報案内	2	2	2段階評価で入力(n×1)
41	賑わいの創出	公開空地の利活用計画	2	2	
42		公開空地の維持管理計画	2	0	
		重点取組加点	5		
43		周辺地域との連携	2	2	
44	回遊性の向上につながる独自提案(取組数×2点) ①都□全体の地下ネットワークを拡張する地下の東□貫通通路 ②東豊線接続通路の増設・強化 ③駅前広場と繋がるまちのメインストリートとなる2F貫通通路		2	6	取組数×2
	2. 札幌らしい季節感のある屋外空間の創出			16	最高点18点
45	緑化・グリーンインフラ	緑化率(数値を入力) 14.19%	3	1	3段階評価(自動計算)
46		みどりの効果的な配置	3	3	3段階評価で入力(n×1)
47		みどりの機能の活用	3	1	3段階評価で入力(n×1)
48	積雪寒冷地の特徴をとらえた整備	質の高いみどりの空間づくり	3	3	
49		雪と共生する空間づくり	2	2	2段階評価で入力(n×1)
50		屋外歩行環境の向上	2	2	
51	札幌らしい季節感のある屋外空間を創出する独自提案(取組数×2点) ①駅前広場から連続したみどりの整備 ②四季を感じられる屋上庭園(プラザ、そらのヴィンヤード)		2	4	取組数×2
	3. 四季を通じて快適に過ごせる屋内滞在空間の創出			6	最高点14点
52	快適な屋内環境創出	屋内滞在空間の空調計画	2	2	
53	屋内空間への潤いの創出	屋内緑化	2	2	
54		木質化	2	0	
55	四季を通じて快適に過ごせる屋内空間を創出する独自提案(取組数×2点) 札幌のいまを映し出すプロモーション空間(駅前広場アトリウム)		2	2	取組数×2
		合計点		37	

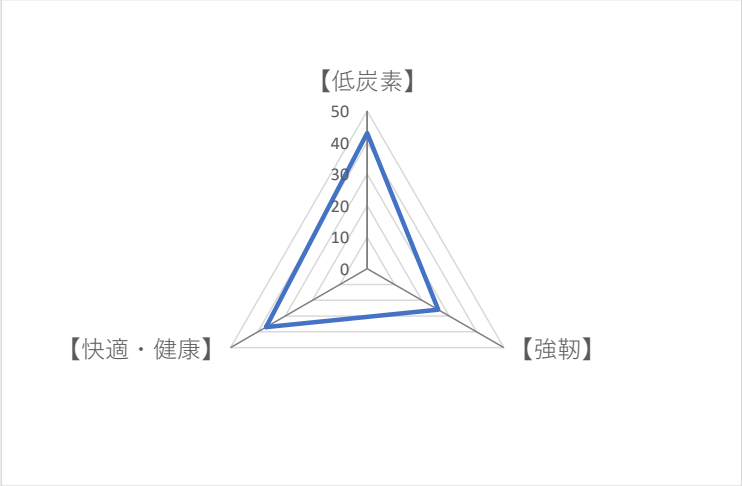
＊:詳細は「都心におけるオープンスペースガイドライン」参照

各取組項目の採点を合計し、その点数により評価

41点～50点
31点～40点 ★★★★
21点～30点
11点～20点
0点～10点

【自己評価の結果】

評価項目	配点	結果	
【低炭素】	50	43	
【強靭】	50	26	
【快適・健康】	50	37	
総合得点	150	106	



【その他の取組項目】

その他の取組	有無	
エネルギーセンター（コージェネ等によるエネルギー供給拠点）整備	☑	
将来的な地域冷暖房受入対応（熱導管未整備エリア）	☐	
熱導管ネットワークの整備（導管スペースの提供）	☐	
エリアエネルギーマネジメントへの参画（周辺の施設との連携）	☑	
CASBEE(札幌)Sランク取得、LEED認証取得、WELL認証取得　など	☐	